

# 学校教育目標

自ら学び豊かな心をもち、健康でたくましく生きる児童の育成



地域の豊かな自然、歴史・文化、人材を積極的に教育活動に取り入れ、子どもを中心に据え、学校・保護者・地域が一体となって教育を進めます。

小原木のあたたかな人の心と風土の中で、目をかけ、声をかけられながら『地域の子』として見守られ、育てられている子どもたち。子どもたちはその期待に応えようと明るく元気に何事にも全力で取り組んでいます。明るい未来に向かって学校生活を送れるように、すべての教育活動において子どもたちは、自他のよさに気づきながら、よりよい人間関係や生き方を求め、夢や希望をもって将来を創り出そうとする意欲や態度を育成します。

## 学

- 読解力・表現力向上  
「読む・書く・話す」場の設定と指導の充実を図ります。
- 基礎基本の定着  
「分かった・できた」が自覚できる授業づくり、自己教育力の育成のため、常に指導法を工夫改善します。
- 問題解決的な学習と体験学習の充実  
互いのよさを認めながら、高め合う集団での学び合いを推進します。
- 読書活動の推進し習慣化  
学校図書館や市立図書館を積極的に活用します。
- パワーアップタイムとスキルタイムの充実  
補充・発展的学習と習熟指導を充実させます。



- 道徳教育推進  
教師と児童、児童と児童の人間関係を深め、健全な心の成長を促します。
- 「はらっこ5」推進  
守るべき約束とマナーを家庭と連携して身に付けさせます。

## 結

- 地域とともに  
地域の素材・人材、特性を生かした教育活動を展開します。
- 保・小・中の連携推進  
行事等を生かして保・小・中の連携を推進します。
- 学校評価を生かした学校経営
- 地域連携型防災教育推進



- 体力の向上  
教科体育や体育的行事などの指導や日常での運動習慣の向上を図り、体力の向上を図ります。
- 減災、防災意識の高揚

地震が来たら津波に警戒  
～グラツときたら高台へ  
①家族間で避難所を決めておく  
②安全避難の目安は「海拔30m」  
③警報解除までお子さんは学校で預かります。  
④緊急時は体育館が一時避難所

小原木小学校 「はらっこ5（ファイブ）！」  
○あいさつは進んで 自ら 誰にでも  
○ハッキリ・大きく・返事は「ハイ！」  
○感謝の気持ちで「ありがとう」  
○素直な気持ちで「ごめんなさい」  
○いやがることは「しない・言わない」相手の気持ちを考えよう

- 全職員による生徒指導の充実  
共通理解と共通行動による積極的な生徒指導を展開し、問題行動の未然防止、早期発見、早期対応を目指します。

- 安全な生活  
交通安全、不審者対策の徹底を目指します。
- 保健指導の充実
- 食育の推進

## 健

## 心



平成26年度在籍児童数

学年	男子	女子	計
1年生	3	5	8
2年生	2	2	4
3年生	3	3	6
4年生	6	2	8
5年生	3	3	6
6年生	6	3	9
合計	23	18	41